

第5回三田市水道ビジョン懇話会 議事概要

会議の名称	第5回三田市水道ビジョン懇話会	
開催の日時 及び場所	令和5年12月28日(木)14:30~16:00 三田市役所 本庁舎3階 302会議室	
出席した懇話会 委員の氏名	水谷会長、酒井副会長、野村委員、山野委員、阿南委員	
出席した 事務局職員の 職名及び氏名	上下水道部	甲斐部長、曾根次長
	上水道課	倉本課長、小松係長、小谷係長、出口係長、本田主任
	浄水施設課	今西課長、長澤係長
	協力会社	株式会社日水コン 澤、中川 有限責任監査法人トーマツ 井谷
意見陳述等のために 出席した者の氏名	0名	
傍聴人の人数	1名	
議題	<ol style="list-style-type: none"> 1 はじめに 2 議題とポイント <ol style="list-style-type: none"> (1)第2次三田市水道ビジョンの素案について 3 連絡事項 <ol style="list-style-type: none"> (1)今後の予定について (2)その他 	
会議の概要	これまでの懇話会における議論をもとに作成した第2次三田市水道ビジョン素案について、その全体像を説明し、事業概要、事業運営の課題、基本理念と将来像、基本施策などについて質疑応答を行った。	
会議の公開・非公開 の区分	公開	
使用した資料の名称	<ol style="list-style-type: none"> 1. 第5回三田市水道ビジョン懇話会次第 2. 第5回懇話会資料【資料1】 	
事務局の連絡先	上下水道部 上水道課 電話 079-559-5156(直通)	

■開会

■事務局あいさつ

上下水道部長より挨拶を行った。

■報告

三田市水道ビジョン懇話会設置要綱第7条第1項の規定により、水谷会長が進行。

【会議開催要件の確認】

三田市水道ビジョン懇話会設置要綱第7条第2項より、会議は委員の過半数が出席しなければ開くことができない。本日、7名のうち5名の出席により会議の開催が認められた。

■議題とポイント

(1) 第2次三田市水道ビジョンの素案について【資料1】

配布資料【資料1】について、事務局が説明を行った。

○1章から4章について

(委員) 2章で前ビジョン・経営戦略の総括をしているが、今後の課題に記載されている内容が抽象的である。もう少し問題点をあぶり出した表現をお願いしたい。また、アンケート調査結果が記載されているが、その内容をどう生かすのかわかるように整理してほしい。

3章についても、課題なのかわかりにくい抽象的な表現が散りばめられていて、どれをターゲットにしていくのかわかりにくい。アンケートも含めた全体の振り返りとして、課題を集約したものが記載されているとわかりやすい。

4章については、30年後の目指すべき姿というのが記載されている。言葉として定性的なことは非常にわかるのだが、具体的にどうするのか。具体的な数値目標の設定が望ましいが、書けない場合は具体的な数値をつかんだうえで書いてもらわないと、5章で出てくる今後10年間で行う施策の内容に対して、その妥当性を判断できない。代表的なところを説明したが全体を通して具体性がないところを確認していただきたい。

(委員) 3ページで、計画給水人口は現在151,100人とあるが、現在もこの数値を目指しているのか。

(事務局) この数値は、第9次拡張事業として、平成12年に厚生労働省の認可を受けた当時の計画値です。

(委員) 所々で「お客さまサービス」や「お客さま目線」との表現が使われているが、これは水道事業のビジョンで一般的に使われている表現なのか。11ページに既に民間委託した窓口サービスのところを「水道お客さまセンター」と呼んでおり、この表現とのバランスで問題はないのか。

(事務局) 全ての水道事業におけるビジョンを確認したわけではありませんが、お客さまという表現を使用しているビジョンはいくつかございますので、特異な表現

ではありません。

(副会長) 私も全体的にビジョンへの取組み、今後の取組み方針等について、具体的な表現を検討してほしいと感じた。ただし、ビジョンに数値を記載するとすると、市の内部における合意形成が前段で必要となる。まずは、内部の合意形成を十分図るようにしてほしい。

また、市民に誤解を招かないようにするため、2ページの本文や図では、将来像として30年先を見据えたビジョンとなっており、そのうち今後10年間で取り掛かる施策を記載したものであることがわかるように表現を工夫してほしい。あと、9ページの料金改定に関する実績説明では、値上げのことだけ記載しているが、近年値下げしたことについても同様に記載をお願いしたい。

(事務局) 料金値下げについては、9ページの水道料金改定の変遷でお示しさせていただこうと思います。

(委員) 25ページに財政の課題に関するグラフが貼り付けてあるが、これは6章と同様の条件でシミュレーションしたものであるなら、どのような条件でシミュレーションしているか記載するようにしてほしい。

○5章から8章について

(委員) 34ページで、今後新たに想定される危機事象に対応すると記載しているが、どのような危機事象を想定しているのか。

(事務局) 最近の話題であれば、有機フッ素化合物のように、これまでの水質基準項目に含まれていないものが、毎年基準が逐次改正されて新たな水質基準項目が出てくることも今後想定されます。そのような意味合いで記載しています。

(委員) 先日三田市内にもメガソーラー施設ができた。メガソーラーができたことで調整池の水質確認といったものを行政の横のつながりで監視しておくような体制を作してほしい。

(委員) 35ページに「バックアップ対策の強化」という表現がある。前段の22～23ページの課題を受けた内容だと思うが、受電の二系統化というのは、自家発電設備の設置等との対比で、コストの安い方を選ぶのか、堅牢なシステムを選ぶという選択なのか。もう少し具体的な説明を記載してほしい。

(事務局) 自家発電設備を設置できるのが一番理想なのですが、三田市で主力となる古城浄水場は、施設能力10,000m³/日のコンパクトな浄水場であり、自家発電設備を設置する面積的な余裕がない。また、自家発電設備はコストがかかるということで、別の変電所からの受電を行うことで停電リスク低減を図りたい。

(委員) 34ページからの主要施策についてであるが、2章や3章の課題と5章の主要施策が関連付けられていない。または主要施策が唐突に出てきている。市民の方に主要施策の必要性を理解してもらうためには関連性について、もう少し説明を追加してもらいたい。

次に43ページは人材の確保と育成であり、非常に重要な施策だと思う。経験年数が1年から5年の職員が多いと書いているので、その職員たちをどのレベルまで上げるためにどのような研修をするべきなのかということを書くべきではないか。

また、水需要予測や財政シミュレーション、更新基準年数等の設定条件について、どこかに記載するようにしてほしい。

(委員) 53 ページに PDCA サイクルで進捗管理すると記載しているが、このサイクルは毎年行い、改善の必要などころのうち、可能なものは翌年度に予算化するなど反映する。そして、5 年経過してどうしても修正の必要があるものなどは、まとめて大きな見直しを行うというやり方がよいと思う。そのような思いを持って、表現も見直していただきたい。

(副会長) 34 ページ以降の KPI について私の感想です。まず、市民アンケート結果を利用した KPI については、安全性に関する満足度とサービスに関する満足度の 2 つがあり、違いがわかりにくい。また 10 年後の目標値はもう少し高くてもよいのではないかと感じた。市民アンケートはどれぐらいの頻度で行うのか。

(事務局) ビジョン見直しの機会に実施するものとして、少なくとも 5 年に 1 度実施しますが、事業環境等に応じて、5 年を待たずに前倒して 3 年間隔で実施することも想定しています。

(副会長) 進捗管理に市民アンケートの満足度を用いるのであれば、できるだけ短い周期でアンケートを実施してもらいたい。

次に災害対策については、計画を立てないと KPI の数値も出てこないということは理解できるが、なるべく数値目標を立てるように検討いただきたい。

(会長) 市民の理解を助けるようにするため、8 章の資料編に用語集を付けておいた方がよい。

(会長) KPI として満足度を採用しているが、満足度というのは、達成すると次の願望が出てくるものです。そう考えると、不満足度の割合を少なくするといった KPI の方がよいのではないかと思います。

(委員) 43 ページにおける人材確保の主要施策では、長期的な視点と書いてある。しかし、50 歳以上の職員が半分以上いることを考えると、人材確保は短期的に取り組まなければならないのではないかと。

(事務局) 定年退職を迎える職員が多く発生するという喫緊の課題に加えて、もっと長い視点で、経験年数のある職員をどのように確保するかという人材育成の方針を考える意味で「長期的」と書いています。ただし、誤解を招くおそれもありますので、表現は見直します。

(副会長) 51～52 ページでは、収益的収支が赤字となる年度、資金不足となる年度が記載されているが、懇話会で議論された内容ではないため、具体的な年度の記載はいかがなものかと感じた。

(会長) ありがとうございます。委員の皆さまからいただいた意見に関しては、事務局の方で検討のうえ、ビジョンの方にもできるだけ反映してください。

■連絡事項

(1) 今後の予定について

○本日いただいたご意見については、事務局の方で再整理し、最終的に会長及び副会長の確認を経てパブリックコメントにかけることとする。

■閉会